

平成 24 年度横浜市つたのは学園事業報告

引き続き、新たな利用者の確保が優先課題でしたが、4月に新卒者2名と借恵グループホーム利用者1名が入所、9月にもいわまワークス日中一時利用者と60代の他法人グループホーム利用者計2名が入所しましたが、長期所在不明の利用者が6月に死亡確定し、6月より入退院を繰り返していた利用者が10月にお亡くなりになり、3月入所の利用者もご家族が九州に転居のため10月下旬に退所され30名を切る状態に戻り、年度末通所が出来なかった利用者1名が退所となりました。週1回のドア to ドア送迎を6月より週2回とし、3班体制を2班体制とし、班の独自性を明確化し、サービス向上に努めました。家族からの要望として、自宅送迎のさらなる充実を求められました。

1. 重点目標について

(1) 利用者数の増加を目指すについて

福祉事務所等と連携し、上記以外に実習を行ったり、送迎回数をふやし内装工事を行う等、ニーズに対応するよう心がけたが、増加にいたらず。また、養護学校実習生は増えてきている。

(2) 新しい日中体制を充実させるについて

当初は利用者、職員とも戸惑いはあったが、ボランティアさんの協力もあり、徐々に充実に向かってきた。次年度はさらなる充実を心がけたい。

(3) 地域ニーズの発掘を行い、地域との連携強化を行う

長津田小学校の小学生見学、長津田地区センターと協同して地域の方々と利用者とともに地域のゴミ拾い（クリーン作戦）。

(4) 第三者評価受審

評価機関より、全職員に説明を行ってもらい、後期に受審。
基本理念や基本方針の具現化に向け取り組む必要を感じた。

2. 管理面について

(1) 総務関係

- ① 指定管理受託当初から減り続けていた当期資金収支差額(+600万→+130万→▲185万)を、今年度プラス1,000万以上に回復することができた。まだまだ安心はできないが、引き続き収支状況を細かく見守り、経営の安定につなげていきたい。
- ② 環境整備について市の予算で壁改修、手すり改修を行い、年度後半には、外壁補修、屋上防水工事を行った。
汚水槽にもものが詰まり、トイレが使えなくなり、専門業者に除去、洗浄してもらい、雨水槽清掃も行う。
- ③ 6/16、17にパシフィコ横浜で開催された「第7回食育推進全国大会」に障害支援課の要請を受けて出展した。公立の障害者施設で取り組んでいる食育活動について広く知ってもらおうという目的で、他の公立施設(松風学園・リハセンター・中山みどり園)との検討会に参加し、パネル等の準備を行った。当日は両日で当ブースへ419人の来場を達成し、つたのは学園について多くの人に知ってもらうことができた。
- ④ 節電対策については、地区センターと共同し取り組んだが、使用電力量を前年度比6%増、最大需要電力12%減、電気料金20%増であったため、蛍光灯の一部LED導入を行う。

(2) 調理関係

- ① 給食業務委託業者 イフスコヘルスケア(株)
今年度より新たなチーフを迎え、食事提供を行った。
- ② 通常の給食以外の食事提供等
 - ア、毎月2回 選択メニュー
 - イ、毎月 誕生月お祝ケーキ提供
 - ウ、毎月1回 B級グルメシリーズ

2. 支援面について

(1) 日中活動について

アルミ缶リサイクル活動を目的活動班のプログラムとし、全体活動を月曜日音楽、水曜日ダンス、アニマルセラピー等特別活動、金曜体育館をお借りしての身体を動かす活動とし、週2回は1日班活動の日とし、クラブ活動は月2から1に減らした。

(2) 入浴サービスについて

健康活動の班で毎日利用し、目的活動の班も必要な方には、曜日を決めて支援。

(3) 健康相談について

24年度実施回数11回(1回約2～3時間)。個別相談件数 13家族18件。10月はインフルエンザ予防接種&内科検診日として設定。

1人30分以上かけた他には類を見ない個別相談を実施し、多くの保護者の安心につながり、施設としても新たな情報収集の場となり、特色あるサービスの1つとなった。

(4) PT訪問相談について

個別相談件数 4利用者14回。各利用者の特性に応じたプログラム作成への助言やフォローアップをしていただく。

個別相談を依頼しない方に関しても、訪問時に親身に相談を受けていただき、日常生活上の姿勢や動作に関するアドバイスをいただく。

他職種がはいることで、利用者に対する視点が広がった。

4. 各事業の状況について

(1) 事業名: 日中一時支援事業

定期利用者は1名だが、制度があるおかげで、家族が臨機に利用できている。

養護学校高等部の利用を期待していたが、いまだ利用なし。

(2) 事業名: 短期入所連携システム

単独での短期入所が難しい利用者に対し、つたのは支援員が支援に入り、偕恵、いわまワークスの短期入所を利用。両施設の協力により、利用された方には好評。

5. 行事

宿泊旅行: 11月に第1金・土の一泊旅行。初めて土曜に実施。

季節をとり入れた行事を心がけた。

6. 家族会

役員になれる方が少なく、新しい家族の方中心の役員で苦勞された。

防災用物置を購入していただいた。

7. その他

(1) ドア to ドア送迎について

6月より全員週2回実施(運転者、添乗各職員1名)。送迎中、横断歩道での一旦停止不十分1件。全職員に注意喚起。市時代のつたのは学園職員週1回送迎ボランティア。

家族よりは毎日の送迎を期待される。

(2) ブログの活用について

保健だよりをブログへ投稿することで、学園の健康管理体制を外部の人に知ってもらう機会とした。

平成24年度横浜市つたのは学園諸状況について

平成25年3月31日

1. 入退所の状況

入所者	入所年月日	入所前所属	退所者	退所年月日	退所後所属
K.S	24年4月1日	特別支援学校	K.S	24年6月30日	死亡
G.H	24年4月1日	特別支援学校	T.K	24年10月10日	死亡
M.Y	24年4月1日	法人内他事業所	R.O	24年10月10日	県外事業所
H.I	24年9月10日	他事業所	K.H	25年3月31日	在宅
T.T	24年9月10日	法人内他事業所			

2. 援護実施機関について

7区より通所中。市外は町田1名。援護実施機関八王子市1名。地元の緑区からは38%弱

	旭	泉	金沢	港南	港北	栄	瀬谷	鶴見	磯子	戸塚
男	3	0	0	0	1	0	5	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	3	0	0	0	1	0	6	0	0	0
	中	西	保土ヶ谷	緑	青葉	南	都筑	神奈川	市外	計
男	0	0	1	7	3	0	0	1	1	22
女	0	0	0	4	1	0	0	0	1	7
計	0	0	1	11	4	0	0	1	2	29

3. 年齢について

30代、40代が多く、平均年齢は37.9歳

	20未満	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男	2	4	4	7	5	22
女	0	1	4	2	0	7
計	2	5	8	9	5	29

4. 新障害程度区分・障害程度（身体・知的）について

生活介護事業 区分平均4.73

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	0	2	11	9	7

5. 療育手帳の状況について

	A1	A2	B1	B2	計
男	12	6	2	2	22
女	2	3	1	1	7
計	14	9	3	3	29

6. 身体障害の状況について

部位	視覚	聴覚	上肢	下肢	体幹	心臓
人数						
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級
人数	2	3				

7. 在籍年数について

10年以上在籍者51.7%、3年未満37.9%

	1年未満	～2年	～3年	～5年	～10年	10年以上	計
男	5	4	1	1	0	11	22
女	0	1	0	0	2	4	7
計	5	5	1	1	2	15	

8. 利用者の出勤率

月	4	5	6	7	8	9	計	
稼働日	21(21)	22(19)	22(22)	22(20)	21(20)	20(20)		
	44.5 (43.3)	44.2 (40.0)	44.7 (37.5)	44.8 (37.2)	43.5 (38.1)	46.2 (40.0)		
月	10	11	12	1	2	3	計	
稼働日	24(20)	22(21)	20(20)	20(20)	20(21)	21(21)	255(245)	出勤率
	44.9 (39.1)	43.9 (37.5)	43.9 (36.5)	43.1 (36.7)	45.0 (39.0)	46.4 (43.3)	44.6(38.7)	44.6%

定員数に対する出勤率（定員の緩和策：定員の一日あたり 150%、3ヶ月 125%を限度）

9. 日中一時利用の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	3	4	7	3	4	3	6	3	4	4	5	5	51
人数	2	1	3	1	2	1	3	1	2	2	3	3	24
													前年比 24 件増

10. 短期入所の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
泊数	1	2	1	2	1	2	1	2	0	3	3	4	22
人数	1	2	1	2	1	2	1	2	0	3	2	2	19
													前年比 14 件増

12. 教育実習生等の受入状況について

東京福祉1名、アルファ福祉1名、茅ヶ崎リハビリ1名、聖ヶ丘2名

13. 養護学校生校外実習等受入の実施状況について

みどり養護2名、三ツ境養護2名、麻生養護4名

14. ホール・グラウンドの利用状況について

第3土曜以外の土曜日と祝祭日に施設開放。11月より2月まで工事のため貸出中止。

15. 苦情・事故報告について

○苦情相談受付：正式な苦情相談ではないが、市に直接学園バス運転手の接遇について 1件

【事故報告件数】

	転倒	転落	異食	機器破損	誤嚥	火傷	紛失	その他	合計
24年度								1	1
23年度								1	1

【ヒヤリハット件数】

	転倒	転落	行方不明	誤嚥	食事 トラブル	内服・ 外用薬	表皮剥離 内出血	機器破損	その他	合計
24年度	4	1							3	8
23年度	1		3					1	1	6

○事故報告：その他1件

16. 施設内・外研修

(1) 施設外研修：28回（14名参加）

(2) 施設内研修 6回